

三木市における地域公共交通に関するアンケート調査の分析

アンケートの回収状況について

- アンケート回収率は49.2%であり、おおむね目標を達成した。
- 地域別の割合については、大きな偏りもなく回収することができた。
- 年齢区分別においては、交付時から高齢者への偏りがあったことから、回答においても高齢者の回答への偏りがみられる。

◇地域別回答割合

地域	回答数	回答割合	人口割合
三木	432	25.6%	26.8%
三木南	65	3.8%	7.4%
別所	156	9.2%	8.3%
志染	122	7.2%	3.4%
細川	54	3.2%	2.6%
口吉川	42	2.5%	2.1%
緑が丘	216	12.8%	11.8%
自由が丘	312	18.5%	20.9%
青山	128	7.6%	7.5%
吉川	163	9.6%	9.2%
合計	1,690	100.0%	100.0%
無回答	33	—	—

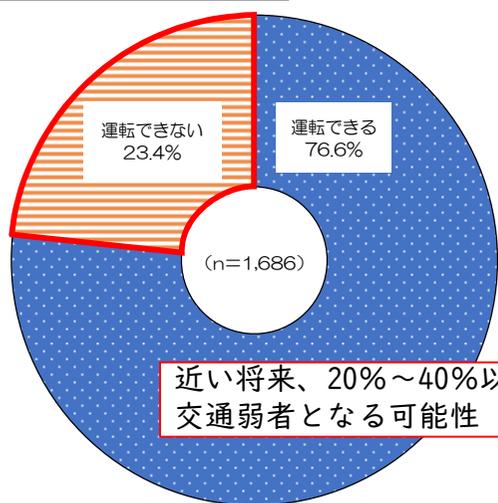
◇年齢別回答割合

地域	回答数	回答割合	人口割合
15～19歳	17	1.0%	5.0%
20～29歳	54	3.2%	9.7%
30～39歳	109	6.4%	10.6%
40～49歳	172	10.2%	14.5%
50～59歳	235	13.9%	14.4%
60～69歳	320	18.9%	14.5%
70～79歳	511	30.2%	18.6%
80歳以上	275	16.2%	12.7%
合計	1,693	100.0%	100.0%
無回答	30	—	—

2 交通弱者について

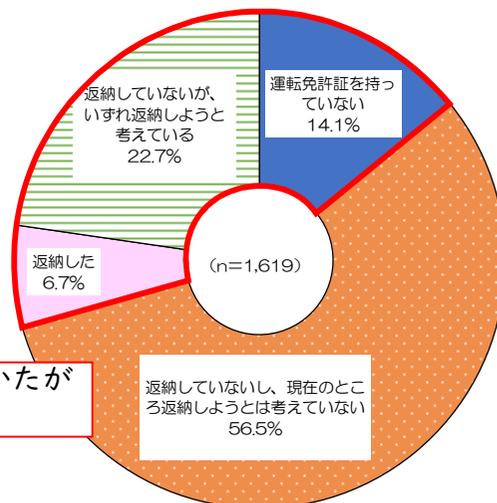
- アンケート回答者の4人に1人が運転できないかたである。
- 運転免許証の保有状況について、返納されたかたを含め、約20%のかたが免許証を保有しておらず、返納を考えているかたを含めると、近い将来、40%以上のかたが免許証を保有していないことが想定される。
- 既に返納されたかたの7割以上が、80歳になるまでに返納されているが、今後返納を考えているかたは、半数以上が80歳以上であり、自由記述から、免許証の返納後の移動手段の確保への不安から返納時期を遅く考えられている傾向がある。

◇車等の運転の可否

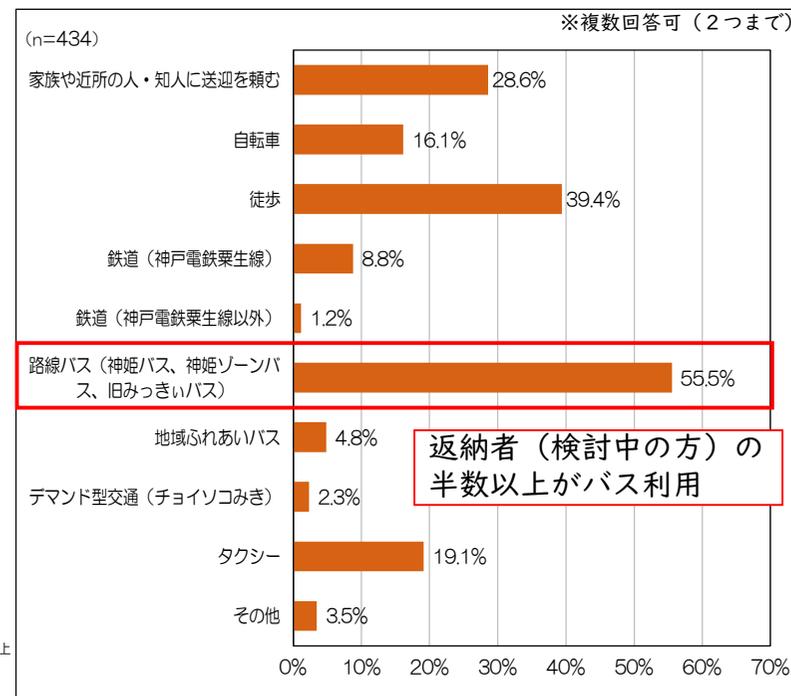


近い将来、20%~40%以上のかたが交通弱者となる可能性

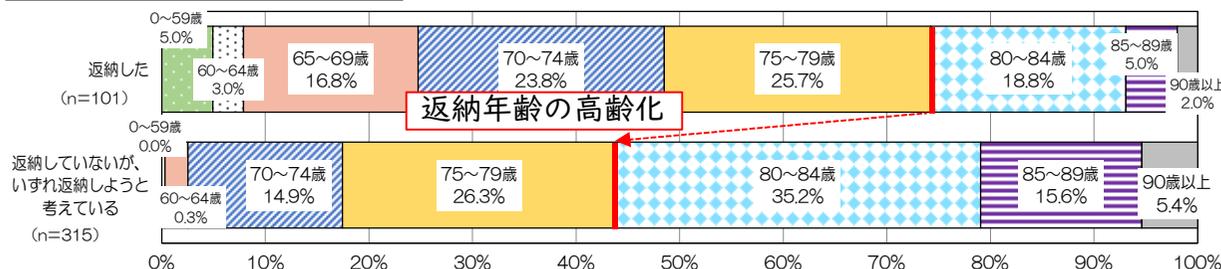
◇運転免許証の保有



◇運転免許証の返納後の移動手段

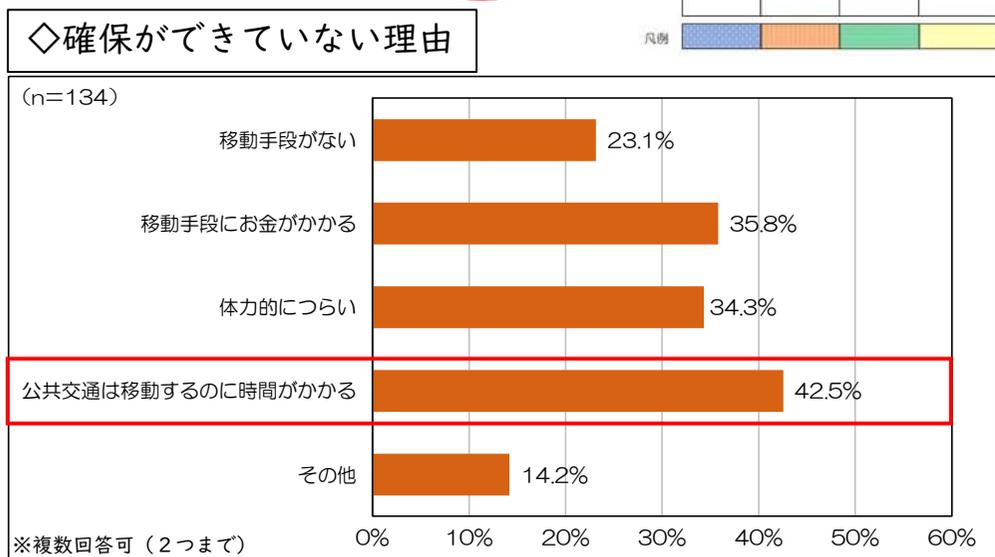
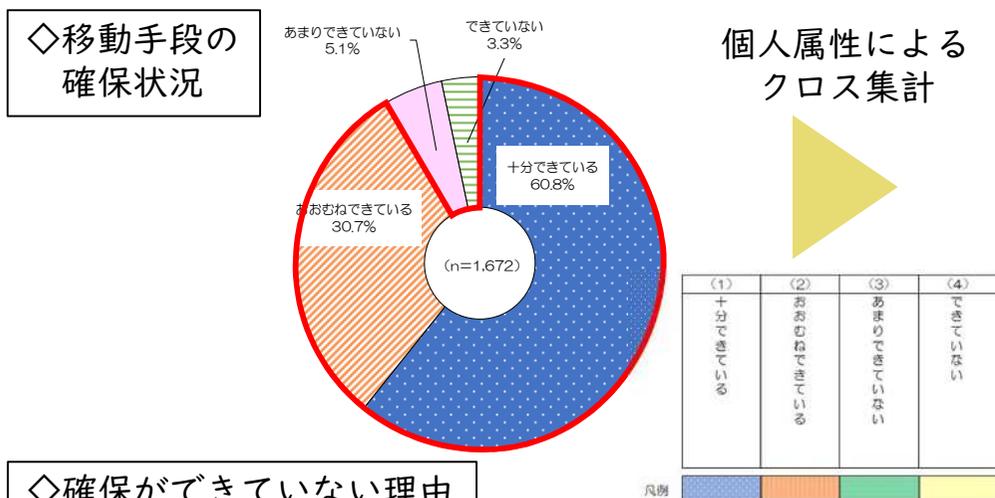


◇運転免許返納の年齢



3 移動手段の確保状況について

- 9割のかたが確保できていると回答しているものの、交通弱者が多い19歳以下及び80歳以上の方においては、2割以上が確保できていないと回答した。
- 高校生を含めた学生において、確保できていないと回答した割合が高い。
- 交通弱者のかたの約3割のかたが、確保できていないと回答した。
- 確保できていないと感じる理由は、移動手段がないことより、移動に係る時間や料金、体力面に意見が集まった。

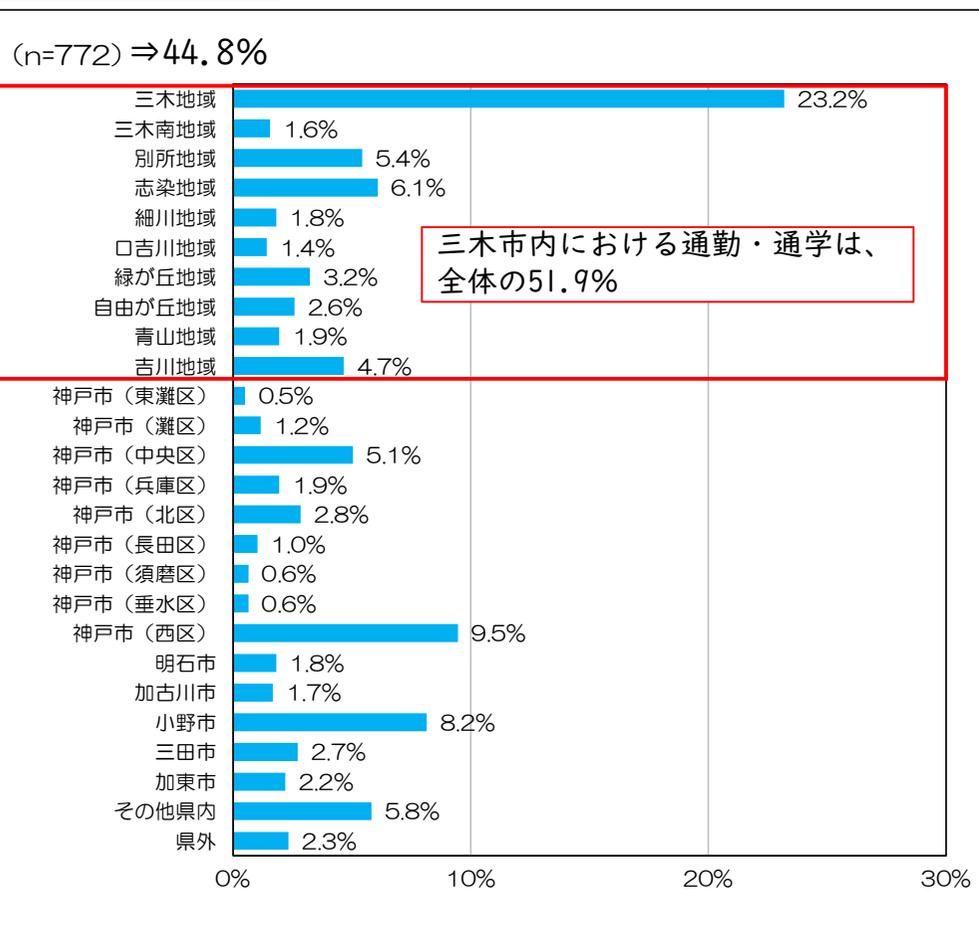


属性	(1) 十分できている	(2) おむねできている	(3) あまりできていない	(4) できていない	人数	
年齢	15~19歳	23.5%	52.9%	17.6%	5.9%	17
	20~29歳	50.0%	42.6%	5.6%	1.9%	54
	30~39歳	74.1%	21.3%	4.6%	0.0%	108
	40~49歳	74.3%	22.8%	1.8%	1.2%	171
	50~59歳	70.7%	27.6%	1.7%	0.0%	232
	60~69歳	70.3%	25.9%	3.1%	0.6%	320
	70~79歳	57.5%	33.1%	5.8%	3.6%	501
	80歳以上	38.1%	38.9%	10.9%	12.1%	265
職業等	会社員・公務員・団体職員（正規社員）	75.0%	23.6%	1.4%	0.0%	364
	派遣社員・契約社員・嘱託	58.1%	33.9%	6.5%	1.6%	62
	パート・アルバイト、フリーター、内職	71.7%	25.5%	2.5%	10.0%	251
	自営業・自由業（農業含む）	78.8%	17.8%	1.7%	1.7%	118
	学生（大学・専門学校等）・予備校生	13.3%	60.0%	20.0%	6.7%	15
	高校生	25.0%	50.0%	12.5%	12.5%	8
	専業主婦又は主夫	53.8%	35.7%	7.0%	3.5%	199
	無職（年金生活含む）	49.0%	36.2%	7.9%	6.9%	621
	その他	63.2%	36.8%	0.0%	0.0%	19
	付車日 運転できる 運転できない	72.2%	25.0%	2.4%	10.4%	1,279
運転できない	23.7%	49.2%	13.8%	13.3%	384	

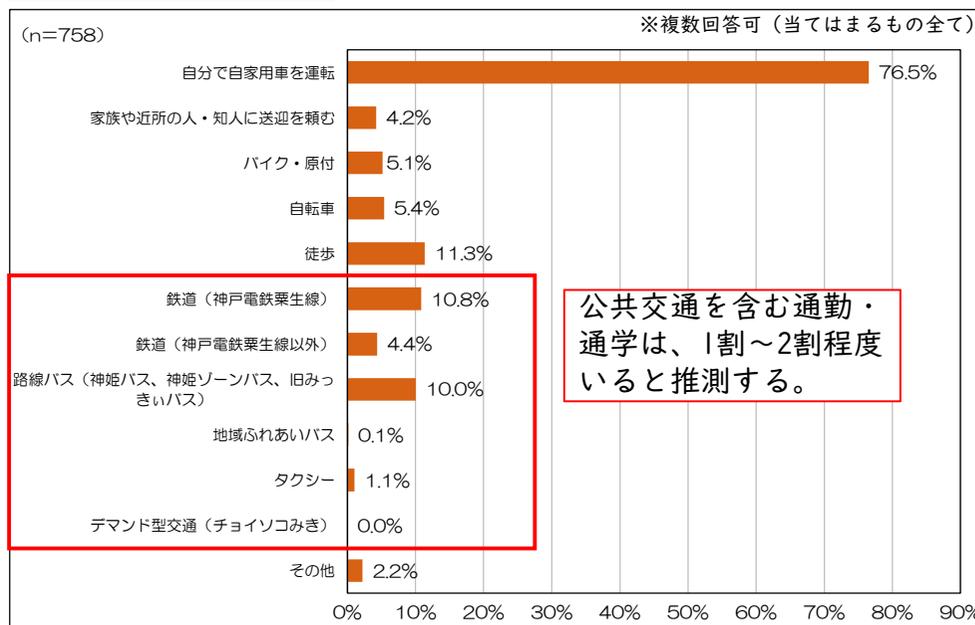
4 通勤・通学状況について

- アンケートにおける通勤・通学を目的とした外出をするかたは、約4.5割である。
- 通勤・通学先は、半数以上のかたが三木市内を目的地としている。次いで、神戸市が約2割であった。
- 公共交通を利用するかたはおおむね2割近くいると推測する。

◇通勤・通学先



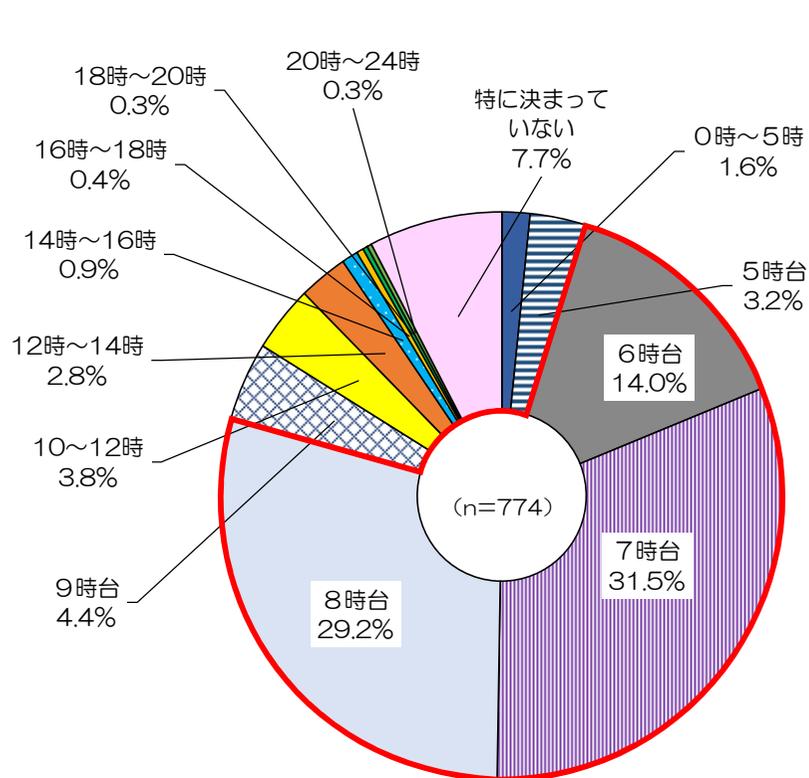
◇通勤・通学手段



4 通勤・通学状況について

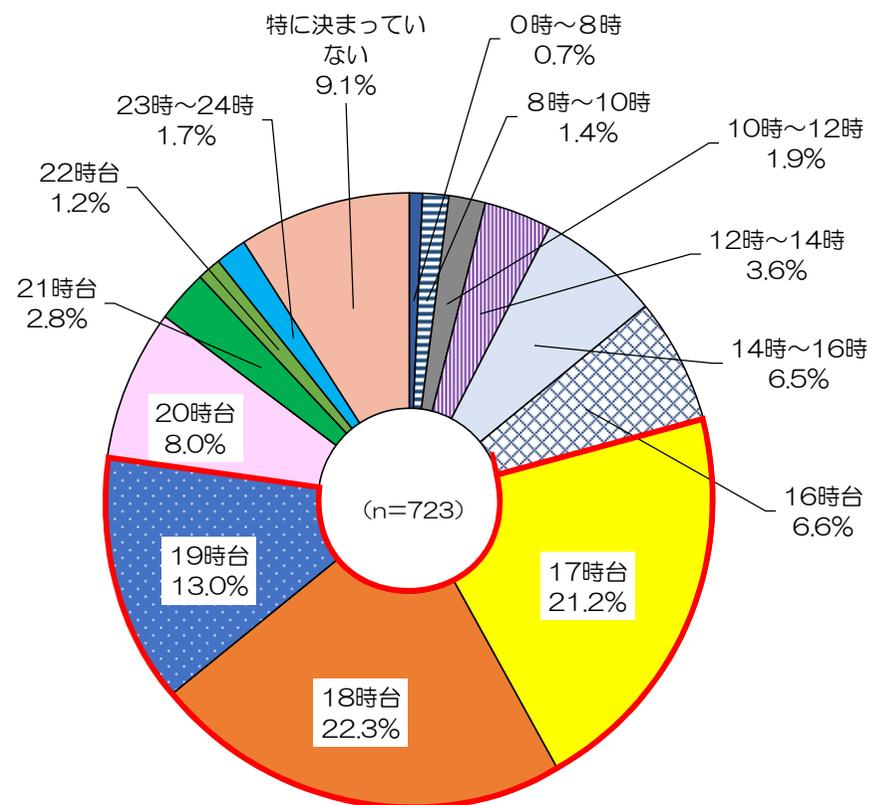
- 出発時間は、6時台から8時台が7割以上を占めた。
- 帰宅時間は、17時台から19時台で5割以上を占めたものの、出発時間に比べ、分散する傾向にある。

◇自宅からの出発時間



6時台～8時台（3時間）で74.7%のかたが出発

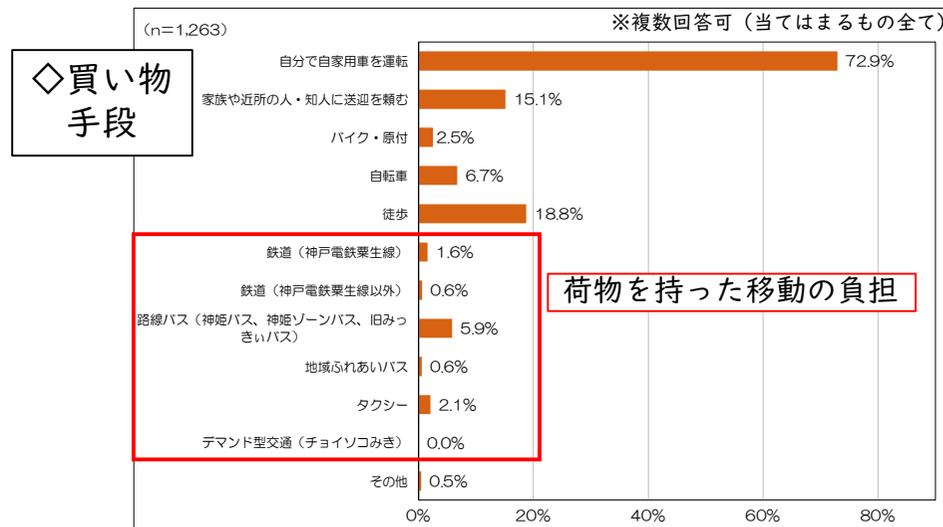
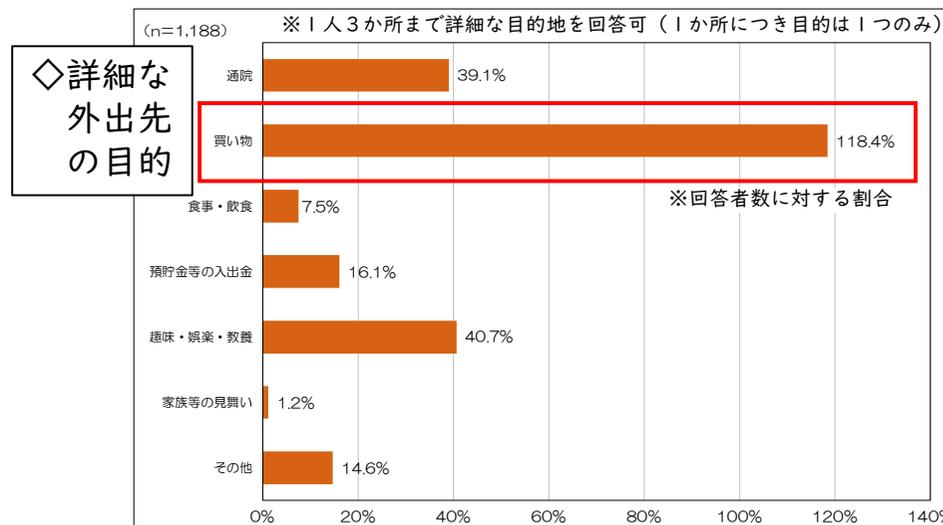
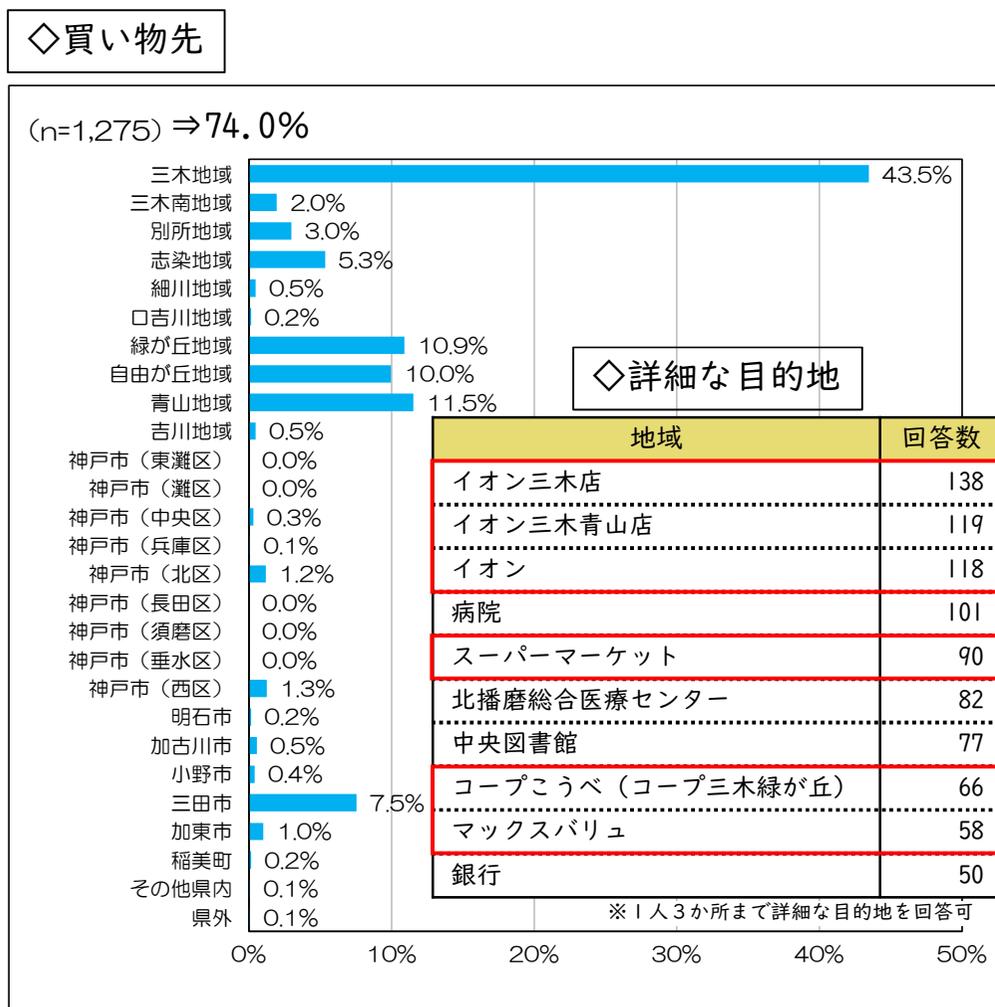
◇自宅への帰宅時間



17時台～19時台（3時間）で56.5%のかたが帰宅
16時台～20時台（5時間）で71.1%のかたが帰宅

5 買い物状況について

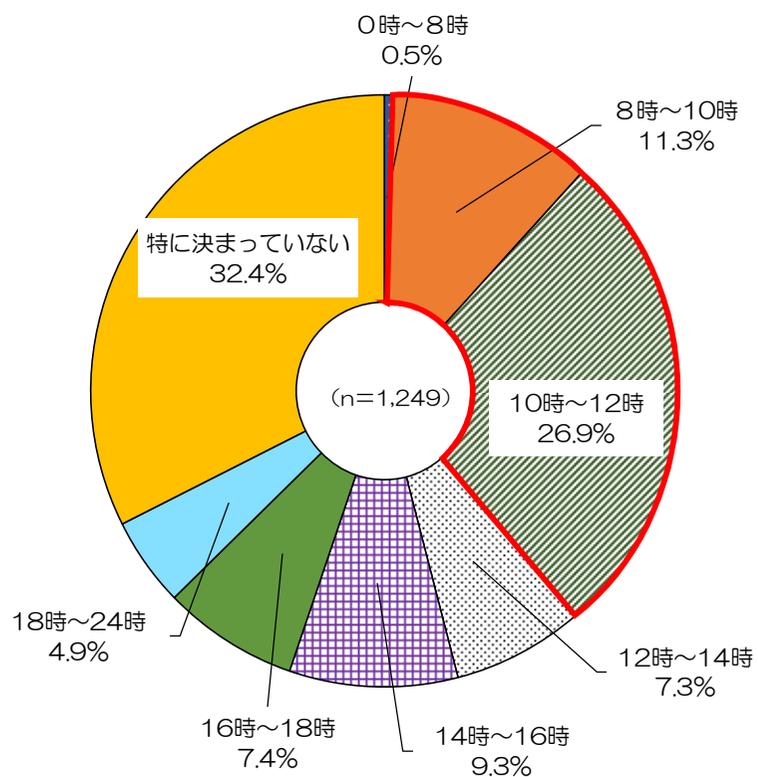
- アンケートにおける買い物を目的とした外出をする方は、約7.5割であり、詳細な目的地の回答においても、買い物を目的とした施設を1人1か所以上を回答した。
- 買い物先は、三木市内のイオンやコープ、その他スーパーマーケットを目的地としている。次いで三田市が多くなった。
- 自由記述から、買い物後の荷物を考えたときに、公共交通の利用は避けられている。



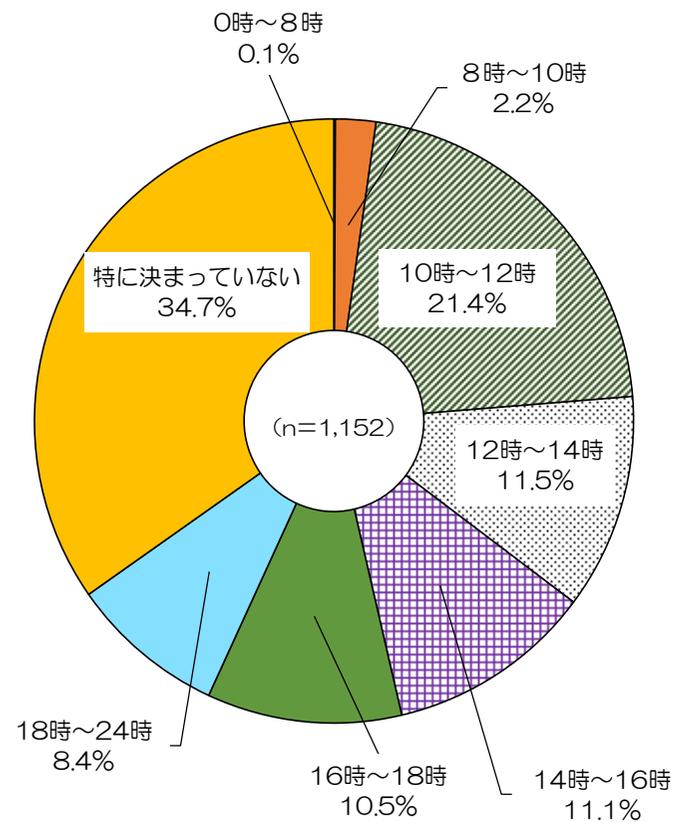
5 買い物状況について

- 出発時間は、午後に比べ午前中に若干偏りを見せているが、出発・帰宅時間それぞれ分散している。

◇自宅からの出発時間



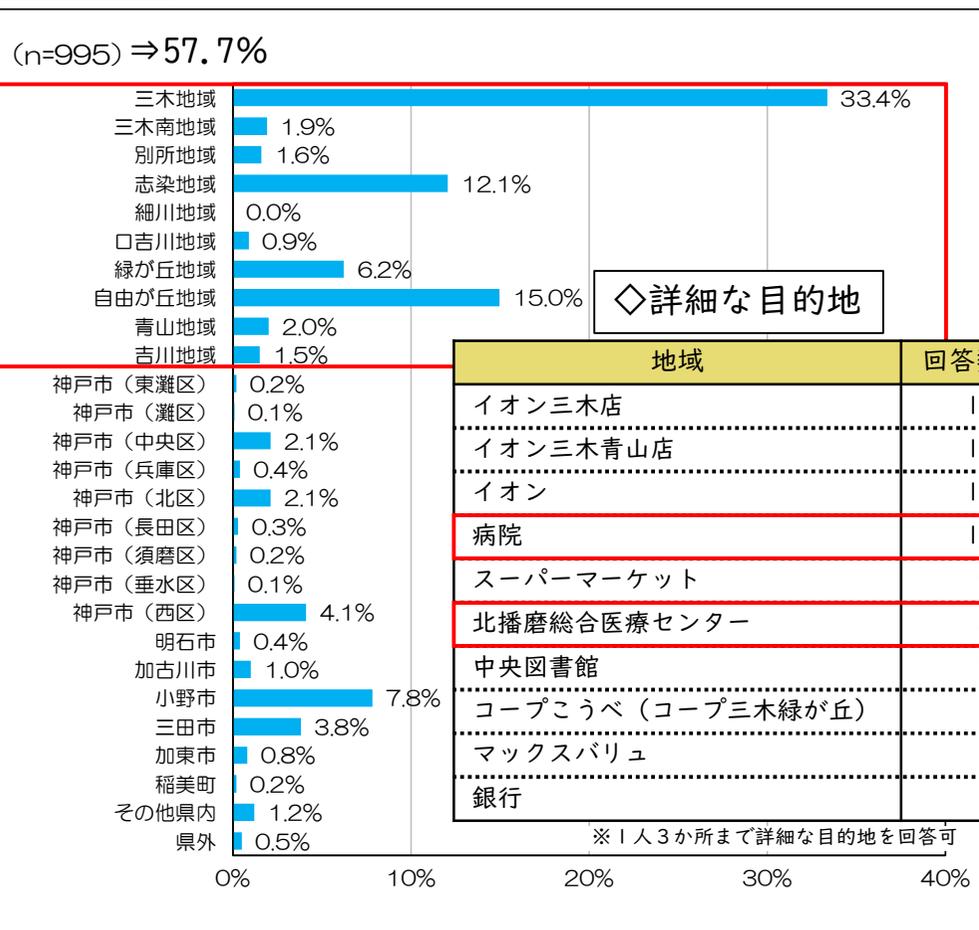
◇自宅への帰宅時間



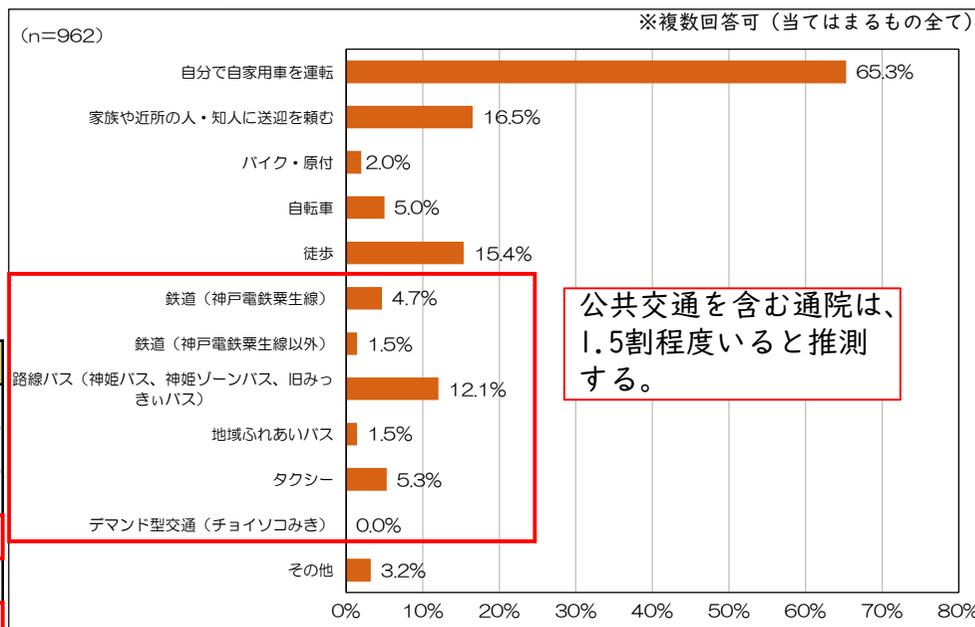
6 通院状況について

- アンケートにおける通院を目的とした外出をする方は、6割弱である。
- 通院先は、北播磨総合医療センターが含まれる小野市より、三木市内の病院が半数以上を占めた。
- 三木市内の病院が半数以上を占めたものの、詳細な場所については、北播磨総合医療センターと回答が多いことには注意が必要である。
- 公共交通を利用する方は約1.5割であり、その中ではバス利用が多い。

◇通院先

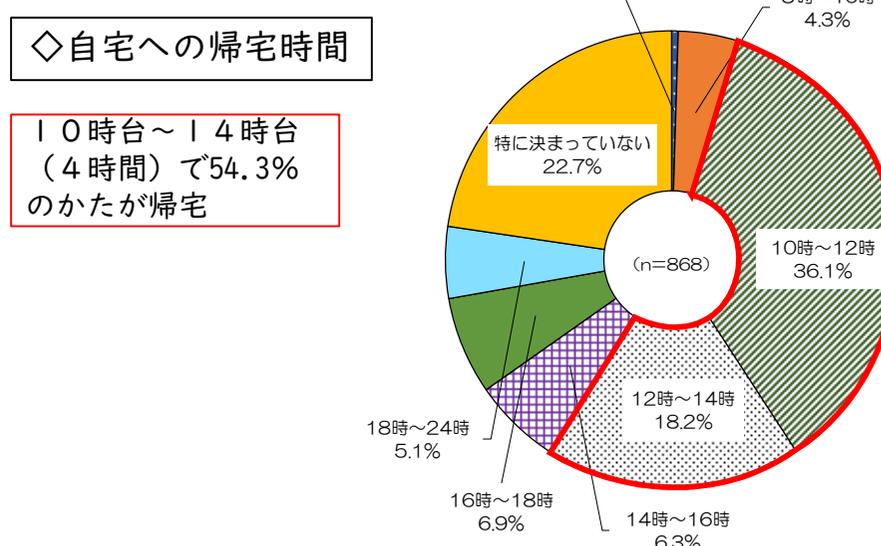
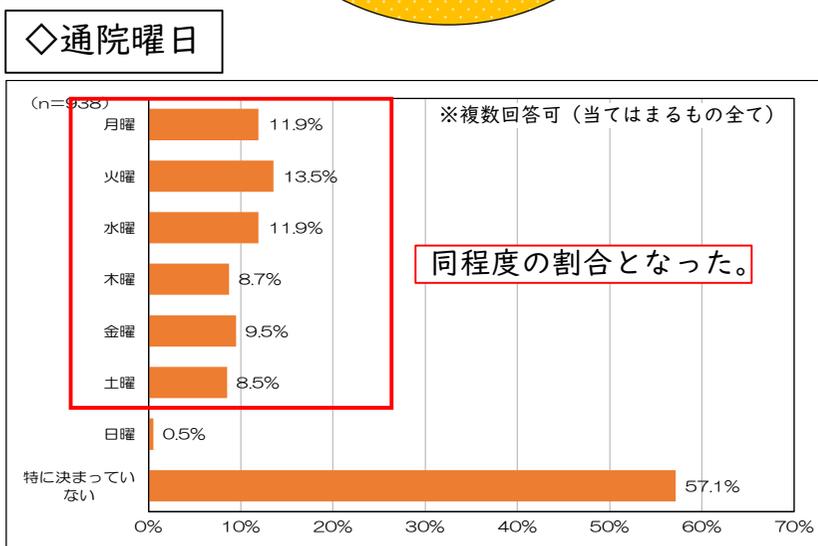
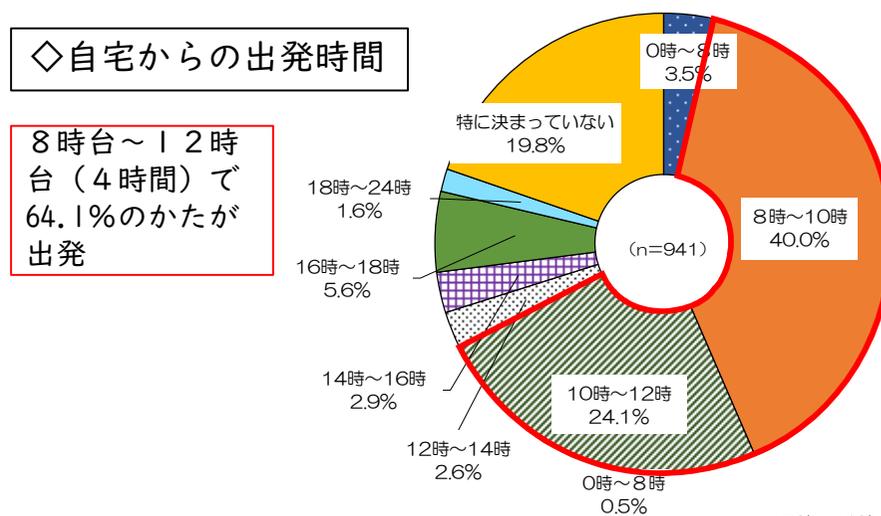
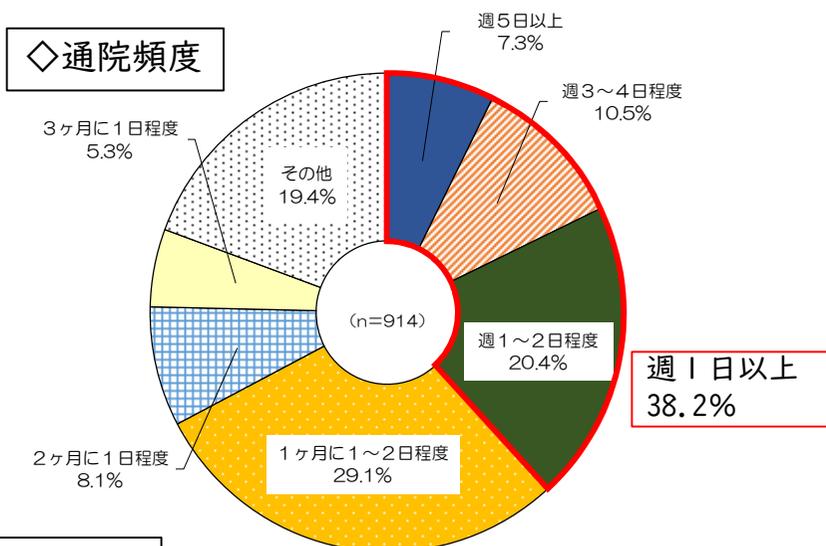


◇通院手段



6 通院状況について

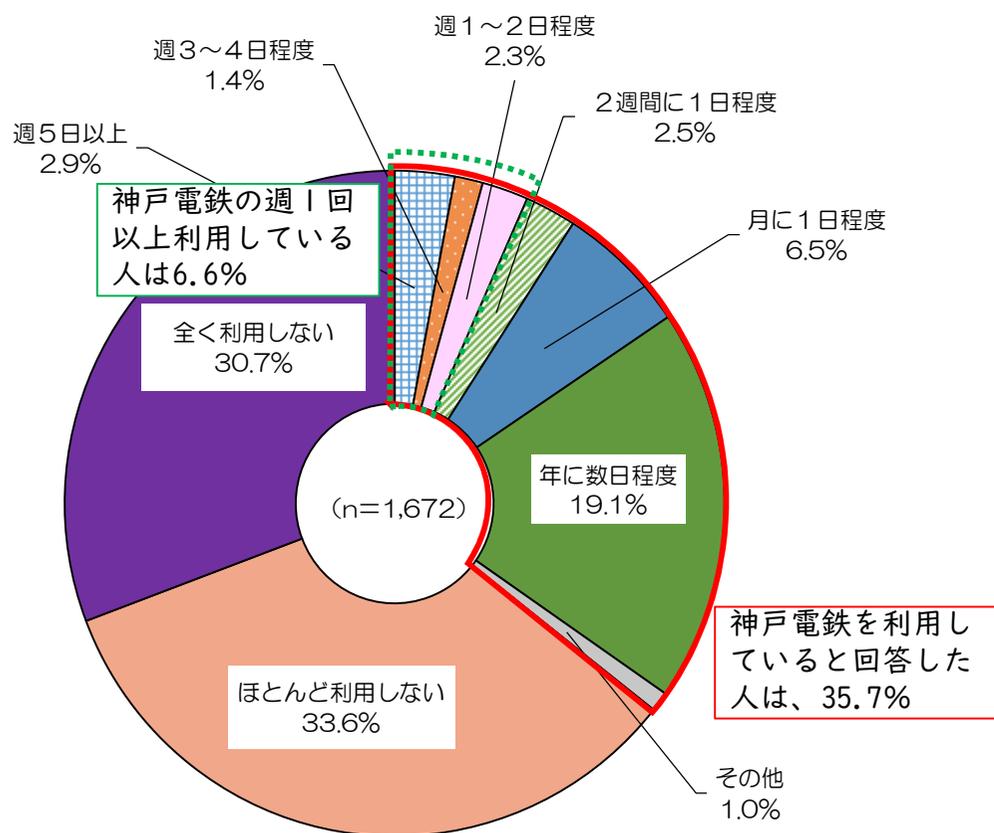
- 週1回以上通院されているかたは、約4割を占めた。
- 通院の曜日は、多くのかたが決まっていらないが、日曜日を除き利用されている。
- 出発時間は、6割以上のかたが午前中を回答した。
- 帰宅時間は、10時から14時に半数以上が集まったが、14時台以降は分散する傾向にある。



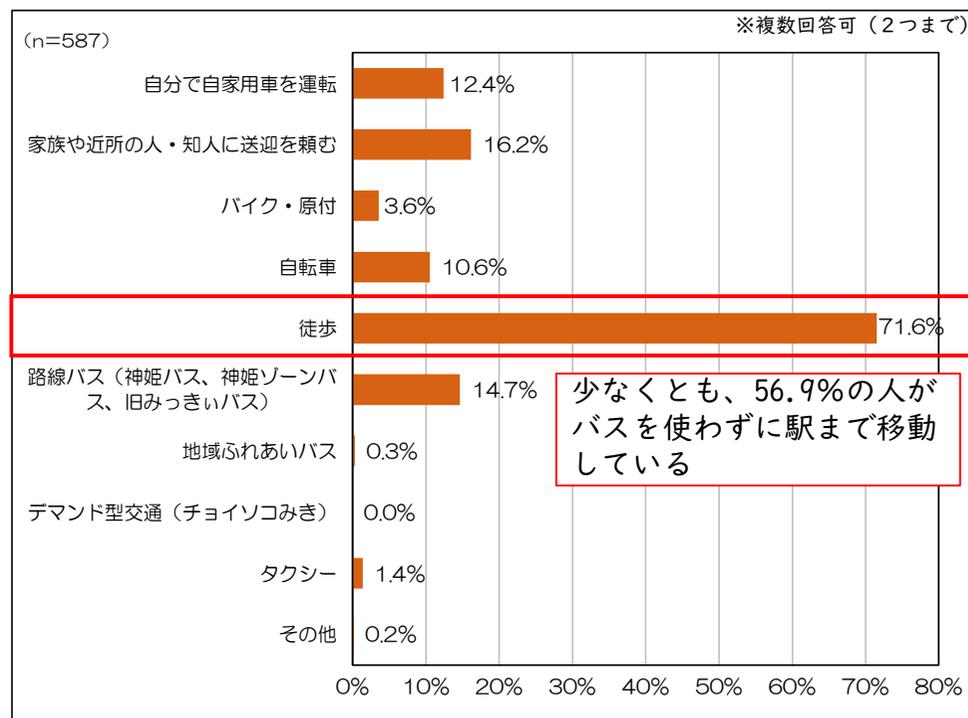
7 神戸電鉄粟生線について

- 神戸電鉄粟生線の利用者は、全体の約3.5割であった。
- 毎週利用する方は、6.6%であり、1割に満たない。
- 駅までの移動手段は、7割以上が徒歩を含む移動であり、駅周辺に住む方に利用が固まっていることが推測される。

◇利用頻度



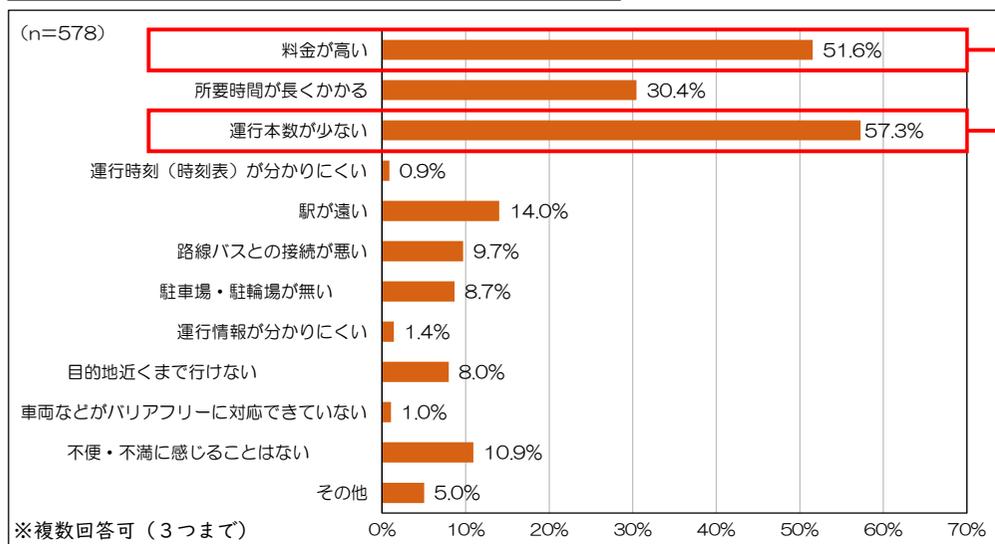
◇駅までの移動手段



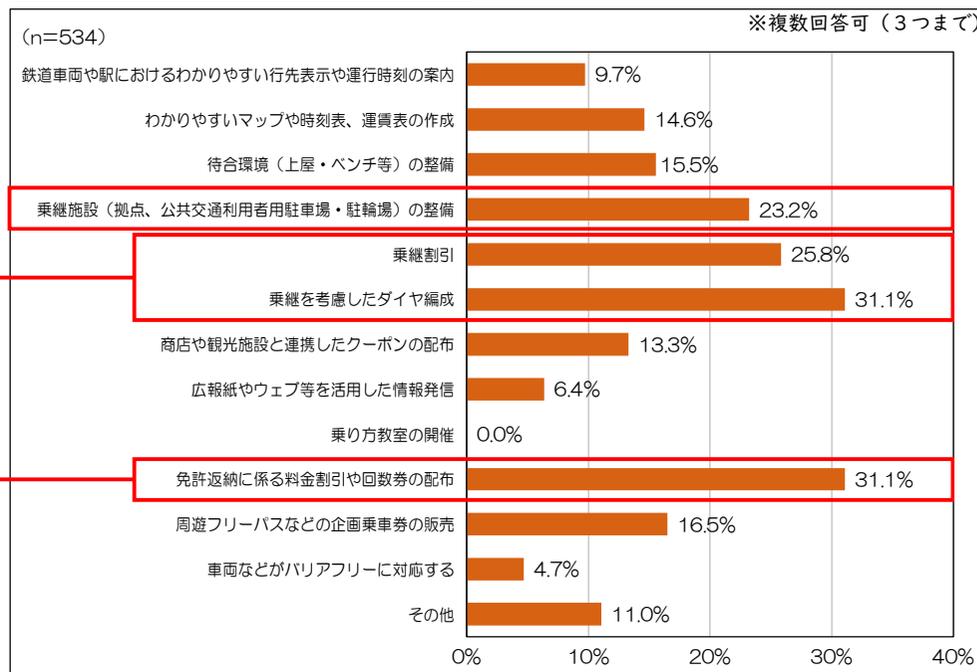
7 神戸電鉄粟生線について

- 神戸電鉄粟生線の利用者は、運行本数の少なさと料金の高さに不便・不満を感じており、他の公共交通との乗継及び料金の緩和施策を望んでいる。
- 駐車場・駐輪場の整備にも2割の意見が集まっており、自由記述においても、各駅における駐車場の整備と駐車料金の引き下げに関する意見が目立った。

◇利用者の不便・不満に感じること

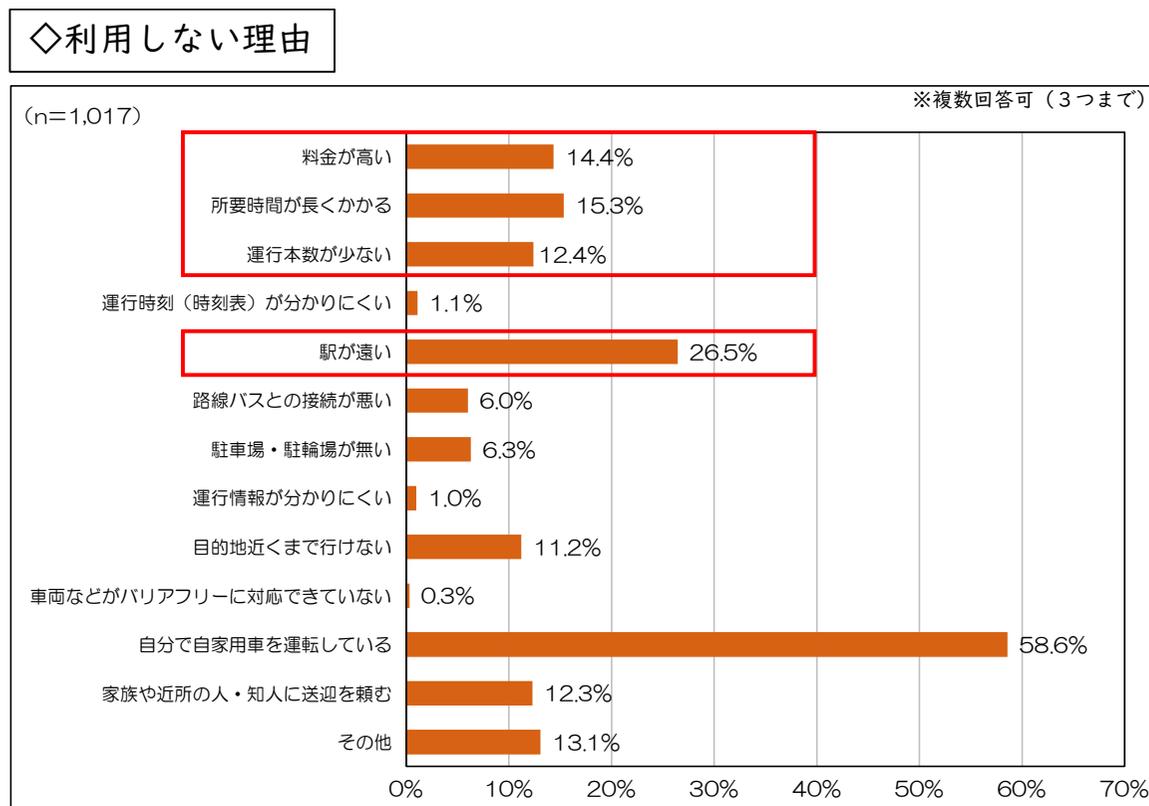
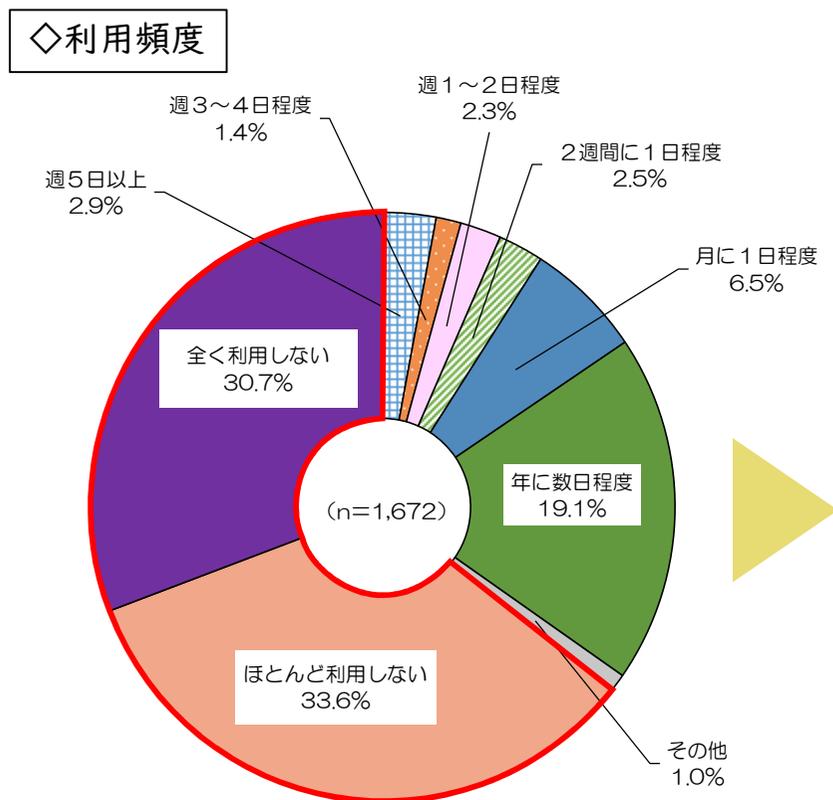


◇利用者の思う利用促進策



7 神戸電鉄粟生線について

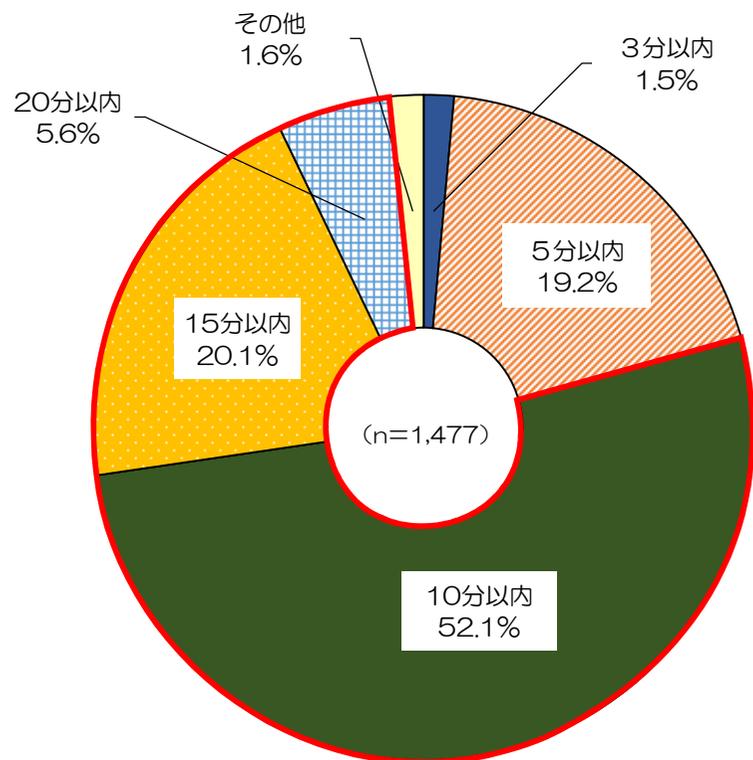
- 神戸電鉄粟生線を利用しない理由としては、駅までが遠いという意見を約2.5割のかたが回答した。
- 次いで、料金や所要時間などの運行内容に関する理由が多かった。



7 神戸電鉄粟生線について

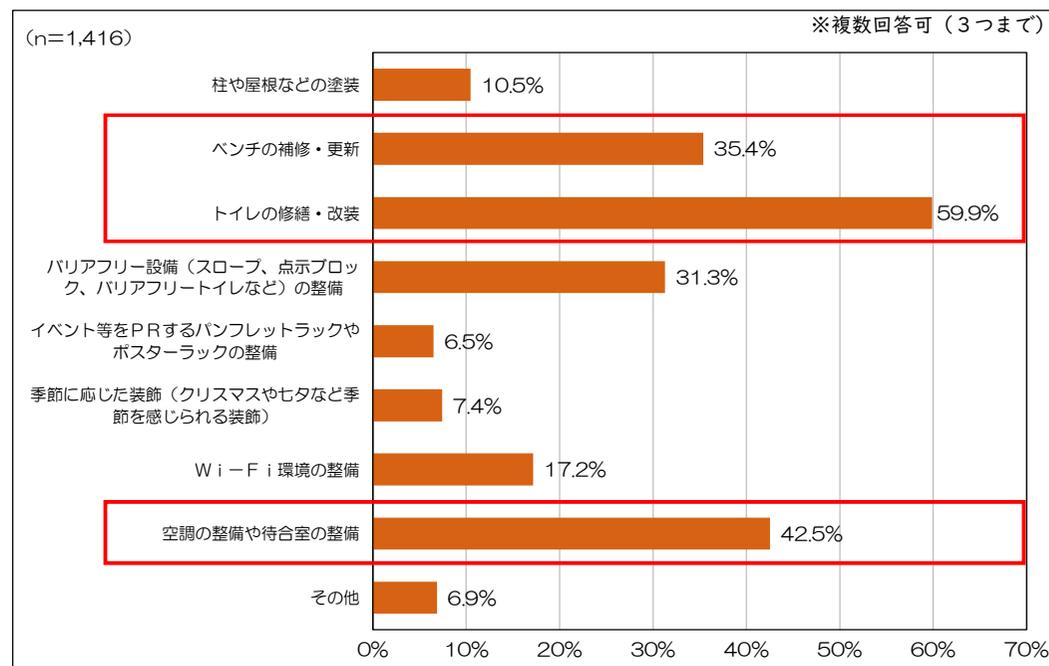
- 鉄道とバスの乗継については、半数以上が10分以内と回答しており、10分以内乗継時間であれば約8割弱のかたが、待つことが可能と回答した。
- 駅的美装化は、トイレや待合室、ベンチの整備・修繕に回答が集まった。

◇乗継に係る待ち時間



10分以内の乗継が77.8%

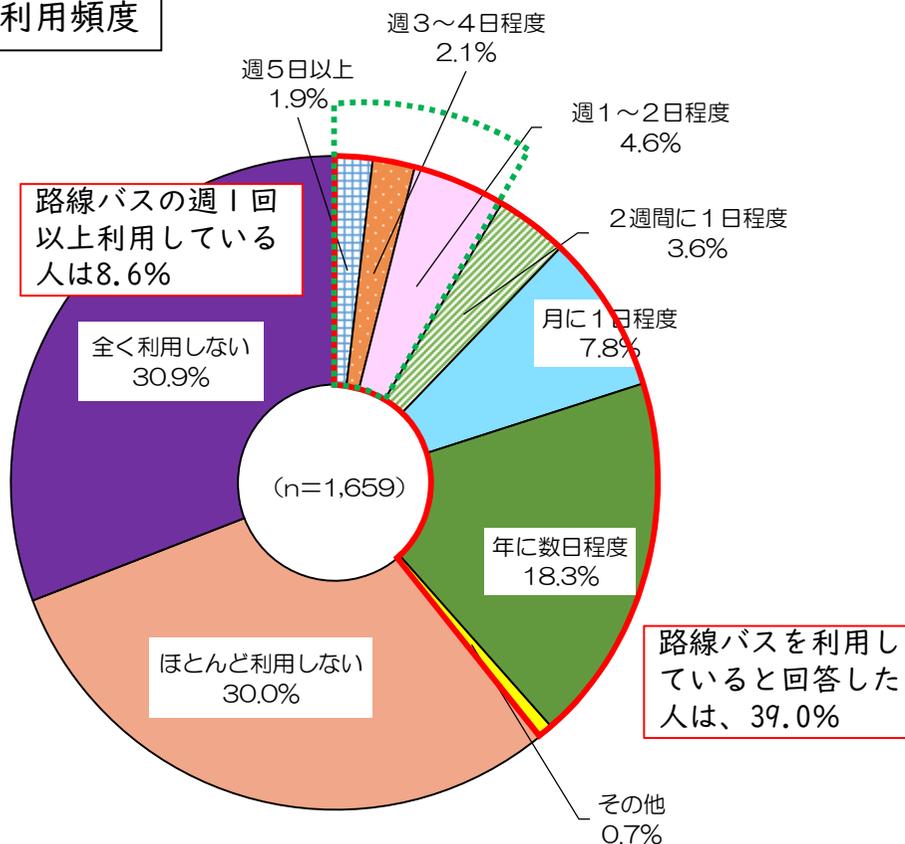
◇効果的な駅的环境整備



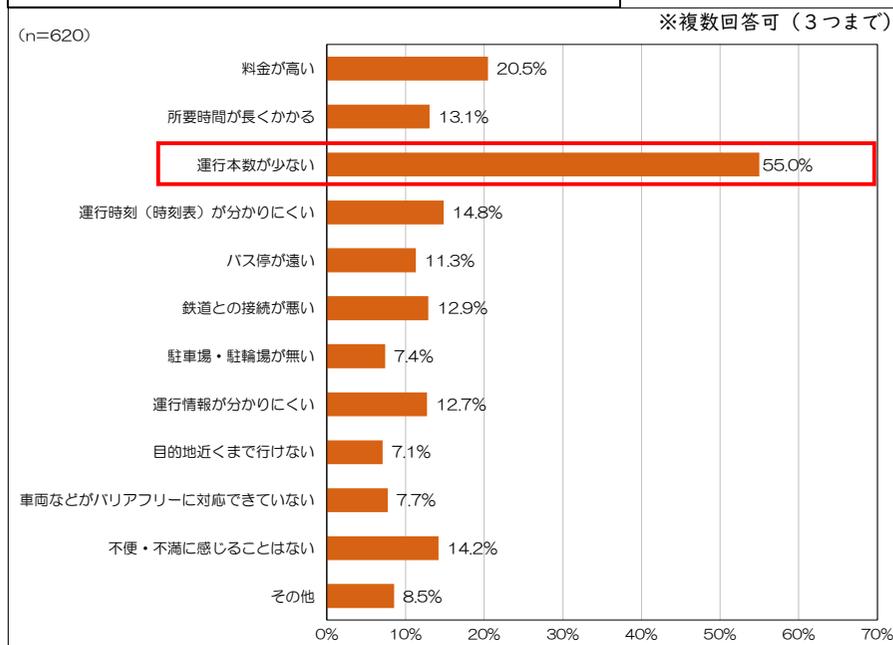
8 路線バスについて

- バス路線の利用者は、全体の約4割であった。
- 毎週利用する方は、8.6%であり、1割に満たない。
- 利用者の半数以上が、運行本数が少ないことに不便・不満を感じている。
- 利用に当たっては、利用案内の充実、待合環境の整備及び免許返納者への料金施策を望んでいる。

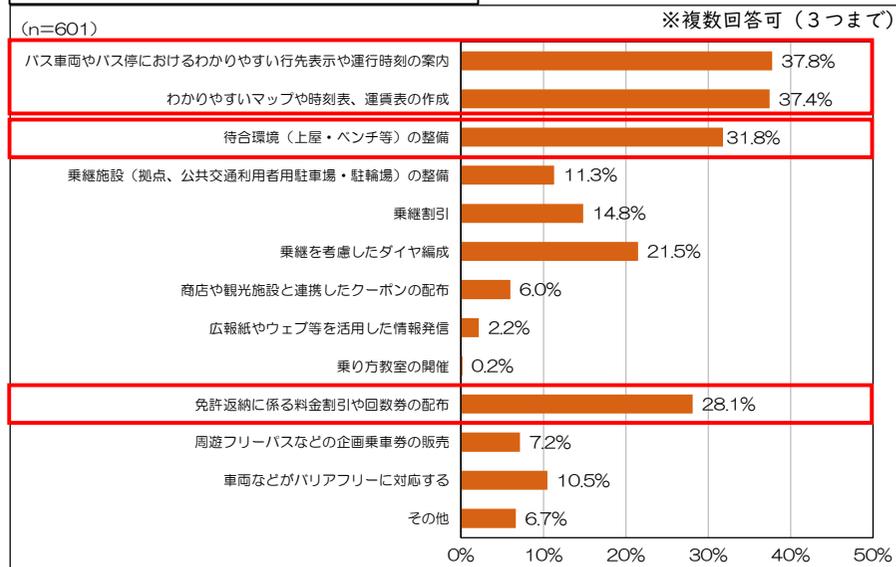
◇利用頻度



◇利用者の不便・不満に感じること



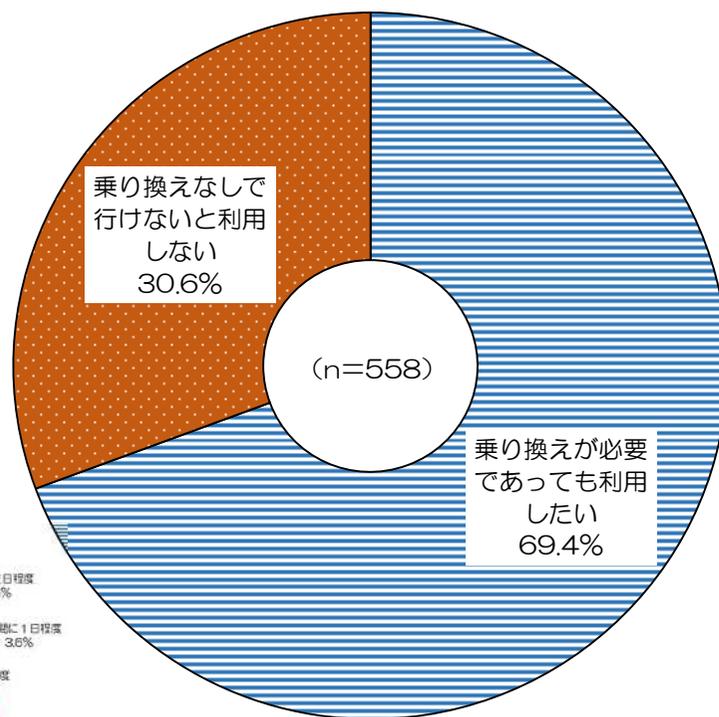
◇利用者の思う利用促進策



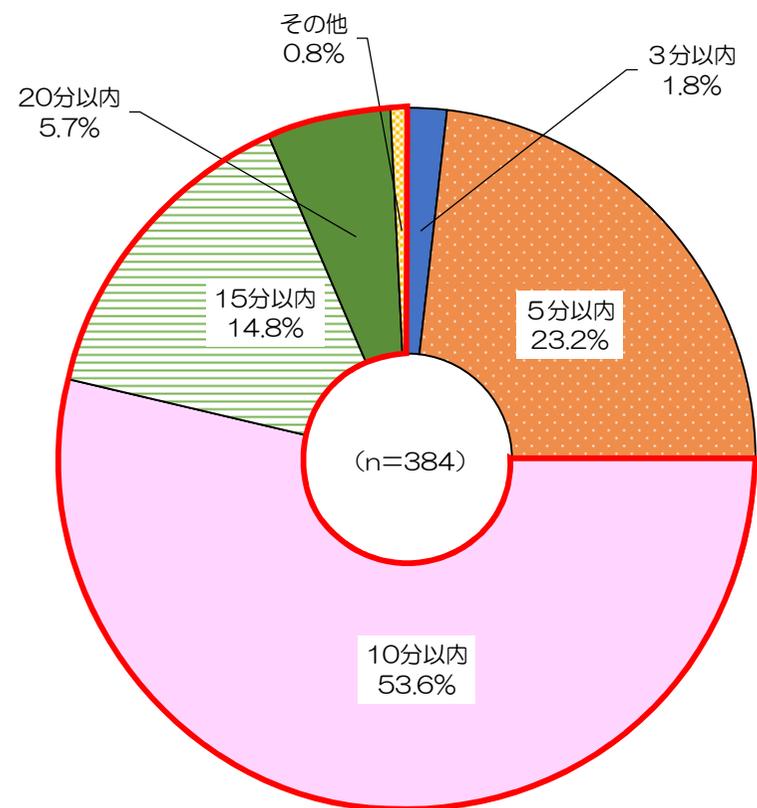
8 路線バスについて

- バスからバスへの乗継については、利用者の約7割の方が乗り継ぎが必要であっても利用したいと回答した。
- 乗継時分については、半数以上が10分以内と回答しており、10分以内乗継時間であれば約7.5割のかたが、待つことが可能と回答した。

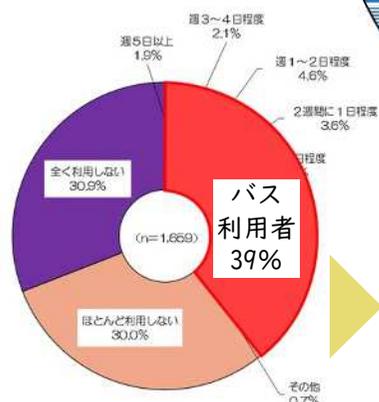
◇乗継利用の可否



◇乗継に係る待ち時間



10分以内の乗継が74.9%

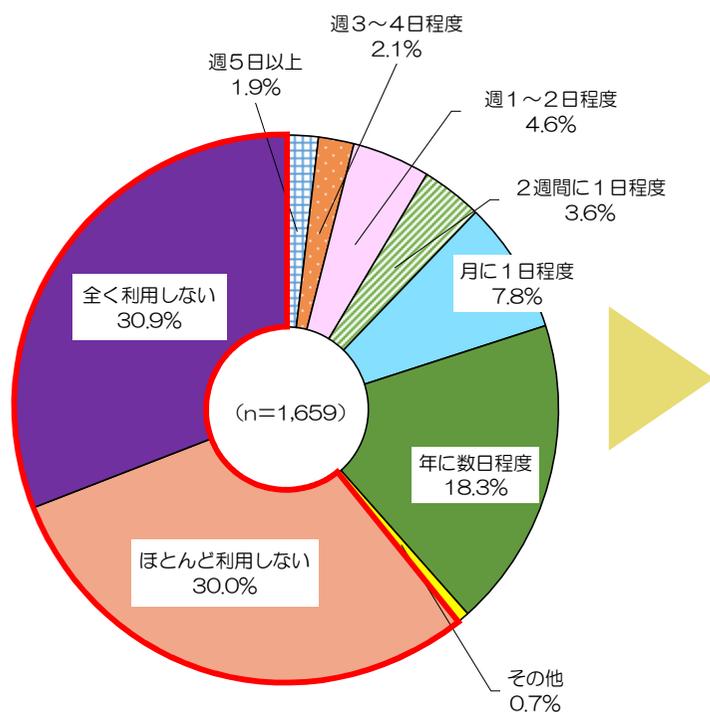


※路線バス利用者4割のかたの回答

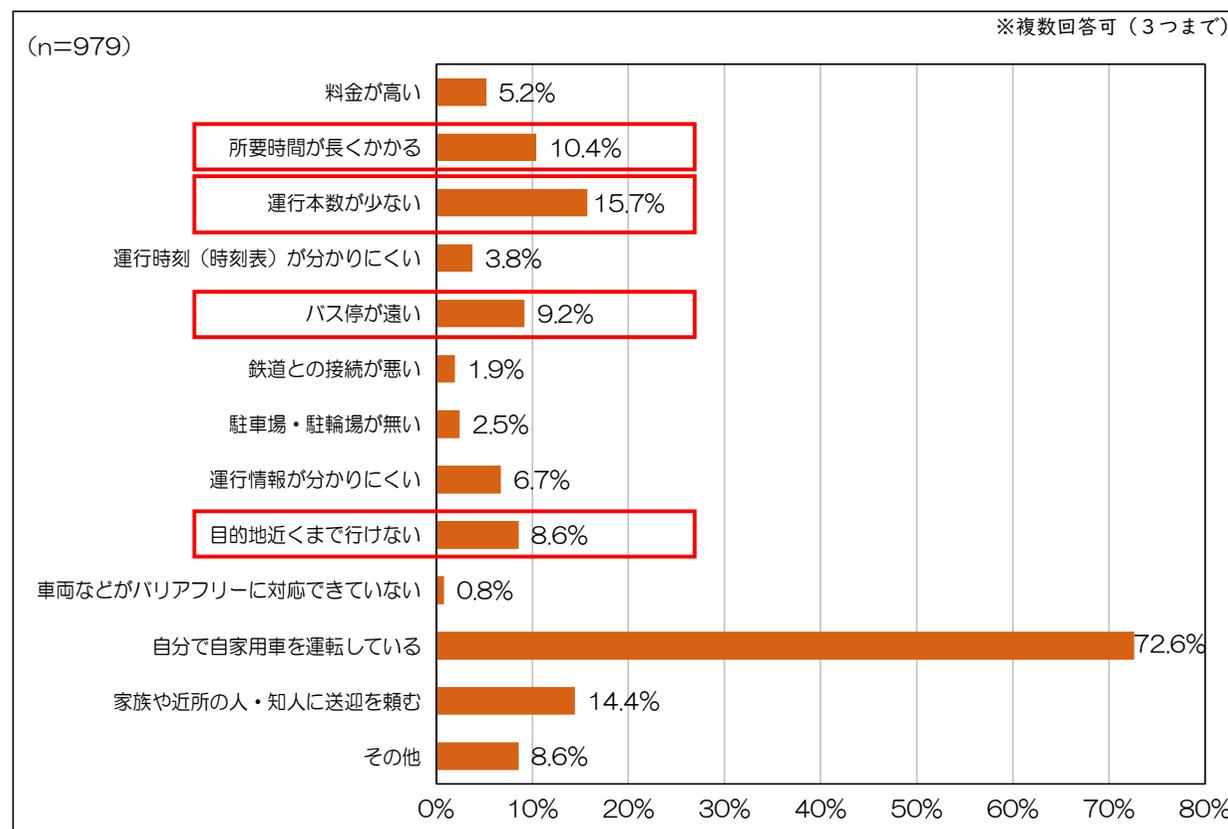
8 路線バスについて

- 路線バスを利用しない理由としては、「運行本数が少ない」と約1.5割のかたが回答した。
- 次いで時間やバス停又は目的地までの距離が問題となっている。

◇利用頻度

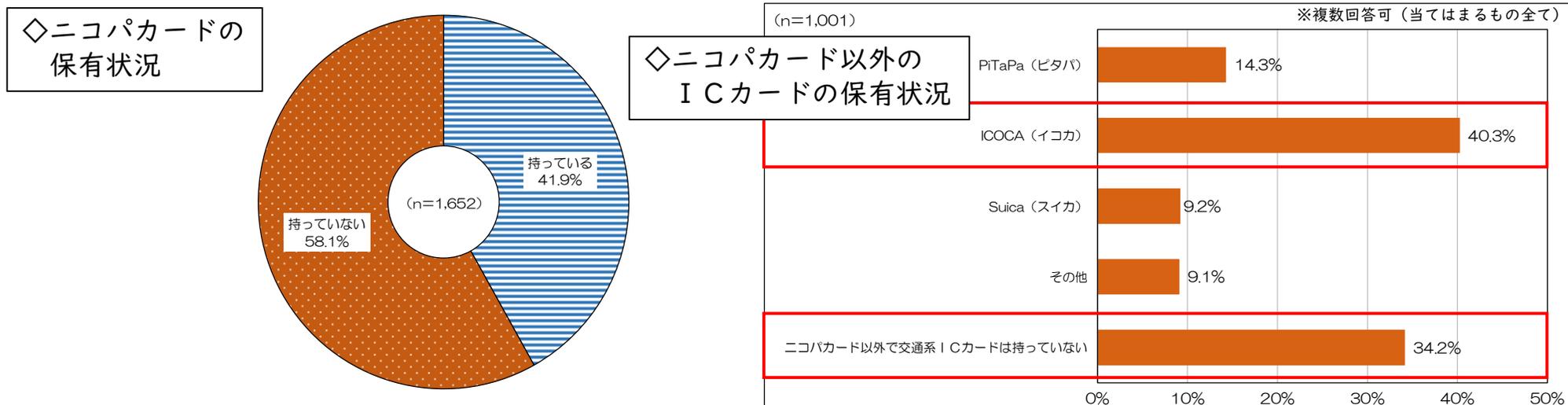


◇利用しない理由



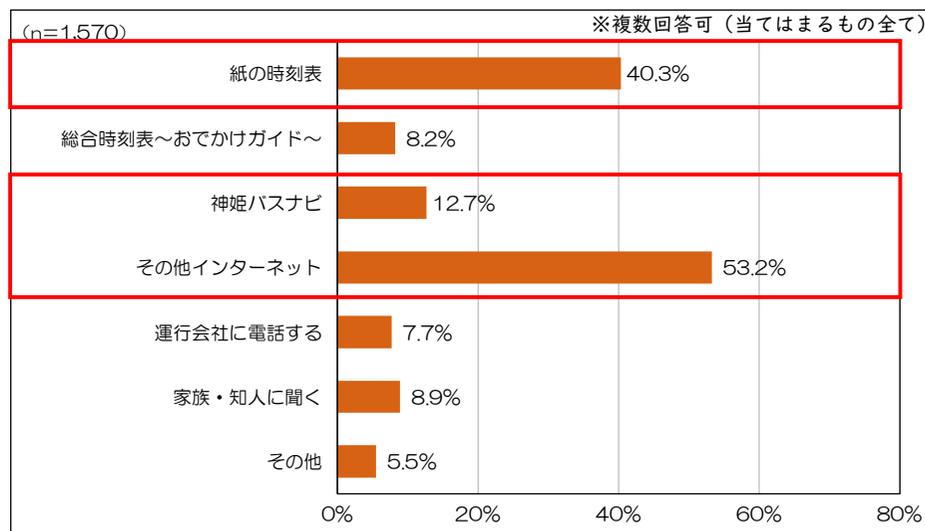
9 交通系 ICカードの保有状況について

- ニコパカードについては、約4割のかたが保有している。
- ニコパカード以外では、ICOCAを約4割のかたが保有している。
- ニコパカードの保有者で、他のICカードを持っていない方は1割弱と推測される。



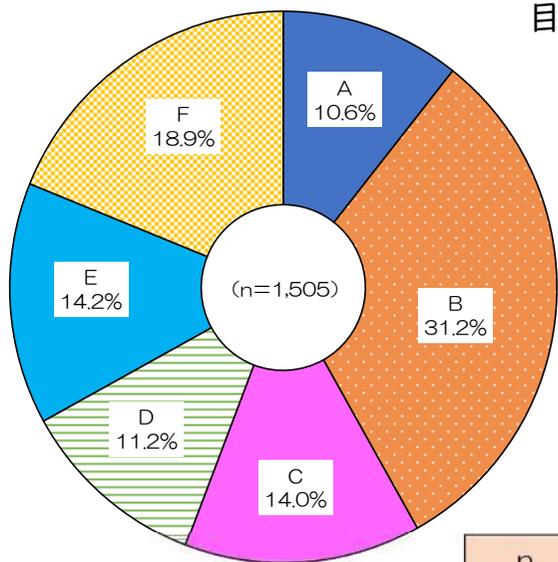
10 公共交通の時刻表の検索について

- インターネットを活用するかたが、5割を超えた。
- 紙の時刻表も約4割のかたが利用されているため、紙時刻表の廃止の流れはあるものの、慎重に検討する必要がある。



公共交通への公的負担に対する考えについて

- 約4.5割のかたが、現在の公的負担額において、公共交通サービスの維持・向上と回答した。
- 若干ではあるが、公共交通利用者は、自家用車等を利用されるかたより、現在の公的負担額において、公共交通サービスの維持・向上と回答した。



目的別移動手段
による
クロス集計

		n	%
A	市の公的負担を増やしても、今以上に公共交通サービスの向上を図るべき	160	10.6%
B	市の公的負担は現状のままで、運行の効率化や見直しを行いサービスの向上を図るべき	470	31.2%
C	市の公的負担は現状のままで、現在と同様の公共交通サービスを維持していくべき	210	14.0%
D	市民がもっと公共交通を利用して、市の公的負担を減らすように協力していくべき	168	11.2%
E	利用者の少ない路線は廃止や便数の縮小を図り、市の公的負担を減らしていくべき	213	14.2%
F	わからない	284	18.9%
総計		1,505	100.0%
無回答・無効票		218	

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
きさいで市のものを、公共交通サービスの向上を図るべき	上直ま市い交ま市いを利市い市止利用わから	い交ま市いを利市い市止利用わから	い交ま市いを利市い市止利用わから	い交ま市いを利市い市止利用わから	い交ま市いを利市い市止利用わから

◇通勤・通学手段

凡例

※複数回答可 (当てはまるもの全て)

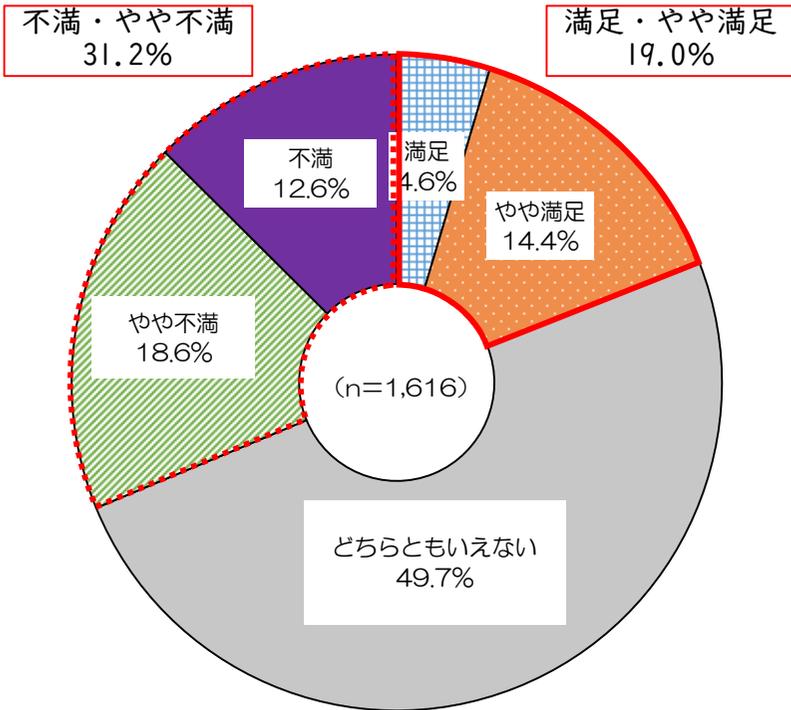
移動手段	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	人数
自分で自家用車を運転	9.7%	33.7%	14.4%	7.1%	17.4%	17.7%	576
家族や近所の人・知人に送迎を頼む	13.5%	32.4%	8.1%	13.5%	16.2%	16.2%	37
バイク・原付	8.8%	41.2%	8.8%	5.9%	23.5%	11.8%	34
自転車	16.7%	31.0%	11.9%	19.0%	14.3%	7.1%	42
徒歩	16.0%	26.6%	13.8%	19.1%	11.7%	12.8%	94
鉄道（神戸電鉄粟生線）	15.7%	41.0%	12.0%	13.3%	4.8%	13.3%	83
鉄道（神戸電鉄粟生線以外）	13.5%	43.2%	8.1%	16.2%	2.7%	16.2%	37
路線バス（神姫バス、神姫ゾーンバス、旧みっきいバス）	14.3%	36.3%	12.1%	12.1%	9.9%	15.4%	91
地域ふれあいバス	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	2
タクシー	15.4%	7.7%	7.7%	23.1%	7.7%	38.5%	13
デマンド型交通（チョイソコみき）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
その他	20.0%	26.7%	6.7%	20.0%	0.0%	26.7%	15

平均 46.2%

平均 50.9%

1 2 公共交通への満足度について

- ・ 不満を感じているかたが、満足と回答したかたよりも多い。
- ・ 若い世代、学生において、不満を感じている方の割合が高い。
- ・ 市街地より農村地域において、不満の割合が高い傾向にある。



(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満

凡例

年齢	満足度					人数	
	不満	やや不満	満足	やや満足	どちらともいえない		
15~19歳	0.0%	23.5%	23.5%	29.4%	23.5%	17	
20~29歳	5.7%	15.1%	39.6%	26.4%	13.2%	53	
30~39歳	2.8%	8.4%	50.5%	23.4%	15.0%	107	
40~49歳	3.5%	11.8%	52.4%	17.1%	15.3%	170	
50~59歳	5.6%	12.1%	45.9%	18.6%	17.7%	231	
60~69歳	1.3%	13.7%	55.6%	18.0%	11.4%	306	
70~79歳	6.0%	15.1%	48.8%	18.8%	11.2%	463	
80歳以上	7.0%	19.8%	49.0%	15.2%	9.1%	243	
お住まいの地域	三木地域	5.7%	16.2%	47.9%	19.7%	10.5%	401
	三木南地域	0.0%	6.6%	54.1%	26.2%	13.1%	61
	別所地域	2.8%	10.3%	56.6%	15.9%	14.5%	145
	志染地域	1.7%	18.3%	52.2%	16.5%	11.3%	115
	細川地域	4.2%	8.3%	47.9%	18.8%	20.8%	48
	口吉川地域	2.4%	4.8%	50.0%	16.7%	26.2%	42
	緑が丘地域	8.7%	17.9%	47.8%	19.3%	6.3%	207
	自由が丘地域	5.4%	20.3%	50.2%	15.6%	8.5%	295
	青山地域	4.0%	10.5%	54.8%	20.2%	10.5%	124
	吉川地域	2.0%	6.0%	40.9%	20.1%	30.9%	149